
[SP 改]

CSV エクスポート

FOR SHAREPOINT 2016

ユーザーマニュアル

1.0 版 2016 年 12 月 01 日

株式会社アンク



目次

概要	2
CSV エクスポート機能の設定	3
エクスポート形式の作成、編集、削除	7
● エクスポート形式の追加、編集	7
● エクスポート形式の削除	17
CSV ファイルの出力	19
● リボンメニューから行う場合	19
● 設定画面から行う場合	21
設定をエクスポート	22
設定をインポート	23
インポート時の制限事項	24
スケジュール設定	25
リストテンプレート	29
機能の無効化	30
制限事項	31
試用版について	32

概要

CSV エクスポートは、リストやライブラリのアイテムを CSV ファイルに出力することができる機能です。

出力するデータは、フィルタやソートを行うことができ、出力する列や出力件数を指定することが可能です。

出力の実行は、ビューやフォームのリボンメニューから行い、リボンメニューへボタンを表示するかどうかの設定を行うことが可能です。

また、スケジュール機能により、指定したライブラリへ CSV ファイルをアップロードすることが可能です。

CSV エクスポート機能の設定

CSV エクスポート機能を設定する手順は、次の通りです。

1. リストの設定画面で、[全般設定] の [[SP 改]CSV エクスポート設定] をクリックします。



2. CSV エクスポートの設定画面が表示されます。

[CSV エクスポート機能の有効化]

[このリストで CSV エクスポート機能を有効にする] チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

CSVエクスポート機能の有効化

CSVエクスポート機能を有効化すると、リストデータをCSVファイルで出力することができます。

☒ このリストでCSVエクスポート機能を有効にする

CSVエクスポート形式の作成

詳細設定欄

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
データがありません				

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存 初期化 設定をエクスポート 設定をインポート キャンセル

3. [CSV エクスポート形式の作成]ボタンをクリックし、詳細設定画面から CSV エクスポート形式の作成を行います。

※ 設定方法については、「[エクスポート形式の作成、編集、削除](#)」をご参照ください。

4. CSV エクスポート形式の作成を行うと、一覧に作成したエクスポート形式が表示されます。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☐ リストビュー ☐ フォーム	未保存	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存

初期化

設定をエクスポート

設定をインポート

キャンセル

[エクスポート形式]

リンクをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。

詳細設定画面では、エクスポート形式の編集や削除を行うことが可能です。

※ 詳細は、「[エクスポート形式の作成、編集、削除](#)」をご参照ください。

[リボン設定]

チェックボックスをオンにすると、リボンメニューに対象のエクスポート形式を表示します。

リボンメニューに表示されたエクスポート形式を選択すると、設定した内容で CSV ファイルが出力されます。

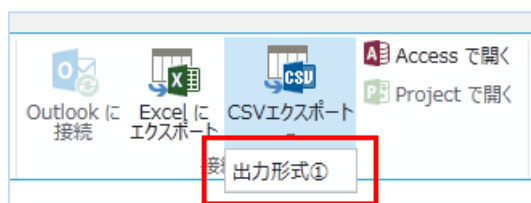
➤ [リストビュー]

ビューのリボンメニューに対象のエクスポート形式を表示します。

➤ [フォーム]

表示フォームのリボンメニューに対象のエクスポート形式を表示します。

表示例)



[実行]

[即時実行]ボタンが表示され、ボタンをクリックすると対象エクスポート形式の CSV ファイルが出力されます。

エクスポート形式の設定が保存されていない場合は、[未保存]が表示され、即時実行を行うことができません。

【スケジュール設定】

リンクをクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。

スケジュール設定画面では、スケジュール機能の有効・無効を設定することが可能です。

※ 設定方法については、「[スケジュール設定](#)」をご参照ください。

【スケジュール履歴】

スケジュール機能が有効の場合、スケジュールの実行結果を表示します。

リンクをクリックすると、スケジュール履歴画面が表示されます。

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	時間単位	成功

➤ スケジュール履歴画面

[SP改]CSVエクスポート：スケジュール実行履歴	
状態	成功
開始日時	2015/08/27 17:18:46
終了日時	2015/08/27 17:18:48
エラーメッセージ	

【保存】

ボタンをクリックすると、設定内容が保存されます。

※ エクスポート形式の設定やスケジュールの設定を行った場合は、[保存]ボタンをクリックするまで全ての設定内容は保存されません。

【初期化】

ボタンをクリックすると、全てのエクスポート形式が初期化(何も指定していない状態)になります。

※ [保存]ボタンをクリックするまで、初期化した内容は保存されません。

【設定をエクスポート】

ボタンをクリックすると、CSV エクスポートの設定内容を XML ファイルで出力します。

※ 設定方法については、「[設定をエクスポート](#)」をご参照ください。

【設定をインポート】

ボタンをクリックすると、CSV エクスポートの設定ファイル(XML)をインポートし、設定内容を反映させることができます。

※ 設定方法については、「[設定をインポート](#)」をご参照ください。

5. [保存]ボタンをクリックすると設定が完了です。

エクスポート形式の作成、編集、削除

エクスポート形式の作成、編集、削除を行う手順は、次の通りです。

- エクスポート形式の追加、編集

1. エクスポート形式を追加する場合は、CSV エクスポート設定画面の[CSV エクスポート形式の作成]ボタンをクリックし、詳細設定画面を表示します。

CSVエクスポート機能の有効化

CSVエクスポート機能を有効化すると、リストデータをCSVファイルで出力することができます。

☒ このリストでCSVエクスポート機能を有効にする

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定
データがありません			

2. エクスポート形式を編集する場合は、CSV エクスポート設定画面の一覧からエクスポート形式の名称リンクをクリックし、詳細設定画面を表示します。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行

3. 詳細設定画面で、各項目を設定します。

[SP改]CSVエクスポート：詳細設定

保存キャンセル

■ エクスポート形式

タイトル *

設定画面やリボンメニューに表示されます。
記号を入力する場合は、全角で入力して下さい。

■ ファイル設定

出力ファイル名 *

[ListName]_[Now].csv

ファイル名には次の置き換え文字を指定することが可能です。

[ListName] リスト名
[Now] yyyyMMddHHmmdd形式
[Today] yyyyMMdd形式

ヘッダー出力

●

 出力する

○

 出力しない

文字コード

shift_jis

☐

 BOMあり

改行コード

CR+LF

出力件数

●

 無制限

○

 上限 件

■ データ変換

改行コード変換

●

 変換しない

○

 変換する

指定した文字列で、データ内に含まれる改行コードを置き換えます。

■ 出力設定

出力項目 *

フォーマットには次の置き換え文字を指定することが可能です。

■ 日付列
日付フォーマット (例: yyyy/MM/dd HH:mm:ss)

■ ユーザー列
[Account] ユーザーアカウント
(出力例: domainUser)
[DisplayName] ユーザー表示名
(出力例: 山田 太郎)

☐

 列名

☑

 ID (ID)

☑

 コンテンツ タイプ (ContentType)

☑

 タイトル (Title)

☑

 更新日時 (Modified)

☑

 登録日時 (Created)

☑

 登録者 (Author)

☑

 更新者 (Editor)

☑

 バージョン (_UIVersionString)

☑

 添付ファイル (Attachments)

☑

 編集 (Edit)

☑

 タイトル (LinkTitleNoMenu)

☑

 タイトル (LinkTitle)

☑

 パス (FileDirRef)

☑

 種類 (DocIcon)

☑

 子アイテムの数 (ItemChildCount)

☑

 フォルダーの子の数 (FolderChildCount)

☑

 アプリの作成者 (AppAuthor)

☑

 アプリの変更者 (AppEditor)

☑

 本文 (Body)

☑

 有効期限 (Expires)

ヘッダー名

ID
コンテンツ タイプ
タイトル
更新日時
登録日時
登録者
更新者
バージョン
添付ファイル
編集
タイトル
タイトル
パス
種類
子アイテムの数
フォルダーの子の数
アプリの作成者
アプリの変更者
本文
有効期限

フォーマット

yyyy/MM/dd HH:mm:ss
yyyy/MM/dd HH:mm:ss

yyyy/MM/dd HH:mm:ss

出力順

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

並び替え

●

 並び替えしない

○

 並び替えする

フィルター

●

 すべてのアイテム

○

 次の条件に該当するアイテム

保存キャンセル

8

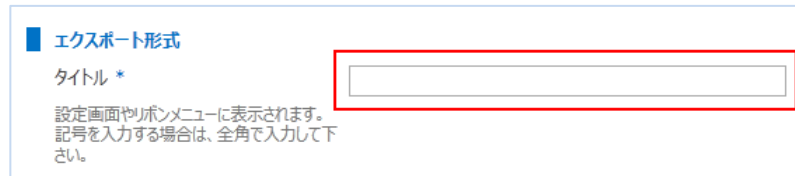
■ エクスポート形式

【タイトル】

設定画面の一覧やリボンメニューに表示されます。

一覧やリボンメニューに表示される場合、追加順ではなくタイトルの昇順で表示されます。

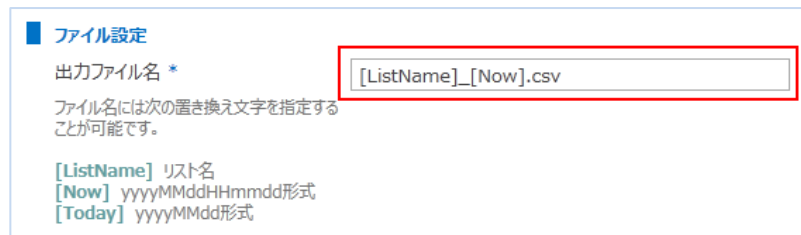
半角記号は入力不可のため、記号を入力する場合は、全角で入力して下さい。



■ ファイル設定

【出力ファイル名】

出力するファイル名を設定します。



ファイル名には、SharePoint の禁則文字は使用できません。

ファイル名には、以下の置き換え文字が指定可能で、出力時に変換します。

ファイル名（置き換え文字を変換後）が 100 文字を超える場合は、自動的に 100 文字でカットして出力されます。

◇ 置き換え文字

➤ [ListName]

リスト名

※リスト名が 100 文字を超える場合は、自動的に 100 文字でカットして出力されます。

➤ [Now]

現在日時（yyyyMMddHHmmdd 形式）

➤ [Today]

現在日付（yyyyMMdd 形式）

出力例)

・リスト名: TestList

・出力ファイル名: [ListName]_[Now]_テスト.csv

⇒ 出力されるファイル

TestList_20150915182045_テスト.csv

[ヘッダー出力]

CSV ファイルの先頭に列名のヘッダー行を出力するかどうかを設定します。

ヘッダー出力	☒ 出力する ☐ 出力しない
--------	---

出力する内容は、[出力設定]の[ヘッダー名]で指定した名称が出力されます。

- 出力する
ヘッダー行を出力します。
- 出力しない
ヘッダー行を出力しません。

[文字コード]

出力する CSV ファイルの文字コードを設定します。

また、BOM の有無を指定することが可能です。

文字コード	shift_jis ▼ ☒ BOMあり
-------	---

- 文字コード
 - ・shift_jis
 - ・utf-8
 - ・unicode
- BOM あり
チェックをオンにすると、BOM 付きで出力されます。

[改行コード]

CSV ファイルの行末の改行コードを設定します。

改行コード	CR+LF ▼
-------	---------

- 改行コード
 - ・CR+LF
 - ・LF
 - ・CR

[出力件数]

CSV ファイルに出力する件数を設定します。

出力件数	☒ 無制限 ☐ 上限 件
------	--

- 無制限
対象のアイテムを全件出力します。
- 上限
対象のアイテムのうち、指定した件数を出力します。

■ データ変換

[改行コード変換]

複数行テキスト列などに含まれる改行コードを、指定した文字列で置き換えます。

※行末の改行コードは変換されません。(変換する場合は、上記[改行コード]で設定を行って下さい)

■ データ変換	
改行コード変換 指定した文字列で、データ内に含まれる改行コードを置き換えます。	☒ 変換しない ☐ 変換する

- 変換しない
改行コードを変換しません。
- 変換する
指定した文字列で改行コードを変換します。
テキストボックスを空で設定した場合は、改行コードは空で変換されます。(改行コードが削除されて出力されます)

■ 出力設定

[列名]

列名のチェックボックスをオンにすると、対象列が CSV ファイルに出力されます。

☐ 列名	ヘッダー名	フォーマット	出力順
☒ 更新日時 (Modified)	更新日時	yyyy/MM/dd HH:mm:ss	1 ▼
☒ 登録者 (Author)	登録者		2 ▼
☐ ID (ID)	ID		3 ▼

先頭の[列名]の左にあるチェックボックスをオン/オフにすると、全列を一度に切り替えることができます。

☐ 列名
☒ ID (ID)
☒ コンテンツタイプ (ContentType)

【ヘッダー名】

ヘッダー行に出力する名称を設定します。

※ 既定では、列の表示名が設定されています。

☐ 列名 ☒ 更新日時 (Modified) ☒ 登録者 (Author) ☐ ID (ID)	ヘッダー名	フォーマット	出力順
	更新日時	yyyy/MM/dd HH:mm:ss	1 ▼
	登録者		2 ▼
	ID		3 ▼

【フォーマット】

日付列とユーザー列の場合、フォーマット欄にテキストボックスが表示され、出力するデータのフォーマットを指定することが可能です。

未入力の場合は、変換は行われず、アイテムに設定されている値がそのまま出力されます。

☐ 列名 ☒ 更新日時 (Modified) ☒ 登録者 (Author) ☐ ID (ID)	ヘッダー名	フォーマット	出力順
	更新日時	yyyy/MM/dd HH:mm:ss	1 ▼
	登録者		2 ▼
	ID		3 ▼

➤ 日付列

.NET Framework 4.5 の日時書式指定文字列を設定することが可能です。

設定例)

yyyy/MM/dd → 2015/09/15

yyyy/MM/dd HH:mm:ss → 2015/09/15 18:20:45

F → 2015 年 9 月 15 日 18:20:45

G → 2015/09/15 18:20:45

➤ ユーザー列

以下の置き換え文字を設定することが可能です。

✓ [Account]

ユーザーアカウントが出力されます。

例) domain¥anktarou

- ✓ [DisplayName]
ユーザー表示名が出力されます。
例) 安久 太郎

設定例)

[DisplayName] ([Account]) → 安久 太郎 (domain¥anktarou)

[出力順]

CSV ファイルに出力する列の順番を設定します。

列名	ヘッダー名	フォーマット	出力順
☒ 更新日時 (Modified)	更新日時	yyyy/MM/dd HH:mm:ss	1 ▼
☒ 登録者 (Author)	登録者		2 ▼
☐ ID (ID)	ID		3 ▼

[並び替え]

出力するデータのソート順を設定します。

※ 条件を指定しない場合は、アイテム ID の昇順で出力されます。

[並び替えする] を選択すると、下部に並び替え条件欄が表示されます。

並び替え

☐ 並び替えしない
☒ 並び替えする

最優先する列

なし ▼

☒ 昇順でアイテムを表示する (A、B、C、または 1、2、3)
☐ 降順でアイテムを表示する (C、B、A、または 3、2、1)

2 番目に優先する列

なし ▼

☒ 昇順でアイテムを表示する (A、B、C、または 1、2、3)
☐ 降順でアイテムを表示する (C、B、A、または 3、2、1)

条件は、[最優先する列] と [2 番目に優先する列] の 2 つまで設定可能です。

列のドロップダウンから並び替えを行う列を選択します。

最優先する列

なし ▼

☒ 昇順でアイテムを表示する (A、B、C、または 1、2、3)
☐ 降順でアイテムを表示する (C、B、A、または 3、2、1)

※ [なし]を選択すると、条件は無視されます。

- [昇順でアイテムを表示する]
指定した列でデータを昇順(A、B、C、または 1、2、3)で出力します。
- [降順でアイテムを表示する]
指定した列でデータを降順(C、B、A、または 3、2、1)で出力します。

【フィルター】

出力データのフィルター条件を設定します。

[次の条件に該当するアイテム]を選択すると、下部にフィルター条件欄が表示されます。

フィルター

☐ すべてのアイテム
☒ 次の条件に該当するアイテム

次の条件のとき、アイテムを出力する

なし

次の値に等しい

フィルターを追加...

➤ 条件列

出力データをフィルター処理する列を選択します。

次の条件のとき、アイテムを出力する

タイトル (Title)

次の値に等しい

フィルターを追加...

➤ 比較条件

上記の「条件列」で選択した列の値が、どのような条件の時に出力の対象となるのかを指定します。この項目は、「条件列」でどの列を選択したかによって内容が変わります。表示された内容に従って比較条件を選択してください。

次の条件のとき、アイテムを出力する

タイトル (Title)

次の値に等しい

フィルターを追加...

比較条件の指定の仕方については、次のように変化します。

選択した列の種類	比較条件の指定方法
一行テキスト	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
複数行テキスト	比較条件: 次の値で始まる／次の値を含む
選択肢	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
数値、通貨	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
日付と時刻	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
参照	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
はい／いいえ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない
ユーザー、グループ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない
集計値	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下

➤ 条件値

比較条件の対象となる値を指定します。指定した値でフィルター処理を行います。

次の条件のとき、アイテムを出力する

[フィルターを追加...](#)

特定の列の場合、以下の置き換え文字を指定することが可能です。

✧ 日付列

[Today] : 現在の日付に基づいてフィルター処理を行います。

✧ ユーザー列

[Me] : 現在のユーザーに基づいてフィルター処理を行います。

フィルター条件は最大 10 件まで登録することが可能で、[フィルターを追加...] リンクをクリックすると、下部に条件欄が追加表示されます。

☐ すべてのアイテム
☒ 次の条件に該当するアイテム
 次の条件のとき、アイテムを出力する
 タイトル (Title)
 次の値に等しい
 test
☒ AND ☐ OR
 次の条件のとき、アイテムを出力する
 なし

 フィルターを追加...

4. 各項目の設定が完了したら、[保存]ボタンをクリックします。

[SP改]CSVエクスポート：詳細設定

保存 キャンセル

■ エクスポート形式

タイトル * 出力形式①

設定画面やリボンメニューに表示されます。
記号を入力する場合は、全角で入力して下さい。

5. CSV エクスポート設定画面が表示され、一覧に追加、編集を行ったエクスポート形式が表示されます。

※この状態では、設定の保存は完了していません。

CSVエクスポート機能の有効化
CSVエクスポート機能を有効化すると、リストデータをCSVファイルで出力することができます。 ☒ このリストでCSVエクスポート機能を有効にする

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☐ リストビュー ☐ フォーム	未保存	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存 初期化 設定をエクスポート 設定をインポート キャンセル

6. CSV エクスポート設定画面の[保存]ボタンをクリックすると、設定が完了します。

CSVエクスポート機能の有効化

CSVエクスポート機能を有効化すると、リストデータをCSVファイルで出力することができます。

☒ このリストでCSVエクスポート機能を有効にする

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☐ リストビュー ☐ フォーム	未保存	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

- エクスポート形式の削除

1. エクスポート形式を削除する場合は、CSV エクスポート設定画面の一覧からエクスポート形式の名称リンクをクリックし、詳細設定画面を表示します。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
お知らせデータ①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

2. 詳細設定画面で、[削除]ボタンをクリックします。

[SP改]CSVエクスポート：詳細設定

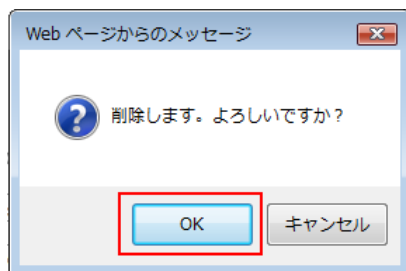
■ エクスポート形式

タイトル *

お知らせデータ①

設定画面やリボンメニューに表示されます。
記号を入力する場合は、全角で入力して下さい。

3. 確認メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



4. CSV エクスポート設定画面が表示され、一覧からエクスポート形式が削除されます。

※この状態では、設定の保存は完了していません。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存

初期化

設定をエクスポート

設定をインポート

キャンセル

5. CSV エクスポート設定画面の[保存]ボタンをクリックすると、設定が完了します。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存

初期化

設定をエクスポート

設定をインポート

キャンセル

CSV ファイルの出力

CSV ファイルを出力するには、リボンメニューから行う場合と、設定画面の[即時実行]ボタンから行うことが可能です。

出力されるアイテムは、操作ユーザーの閲覧権限があるアイテムが対象となります。（閲覧権限がないアイテムは出力されません）

フォームのリボンメニューから行った場合は、フォームに表示しているアイテムのみが出力されます。（1 件だけ出力されるので、並び替え、フィルターの条件は適用されません。）

● リボンメニューから行う場合

1. CSV エクスポート設定画面でリボンメニューへの表示設定を行います。

リストビューまたは表示フォームへの表示設定を選択することが可能です。チェックをオンに設定するとリボンメニューに表示されます。



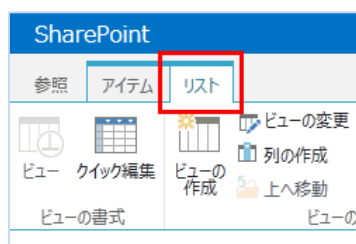
エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし
出力形式②	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし
出力形式③	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

保存 初期化 設定をエクスポート 設定をインポート キャンセル

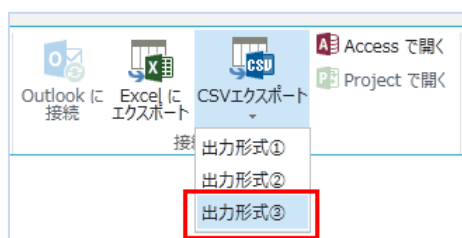
2. [保存]ボタンをクリックし、設定を適用します。

リストビューから実行する場合

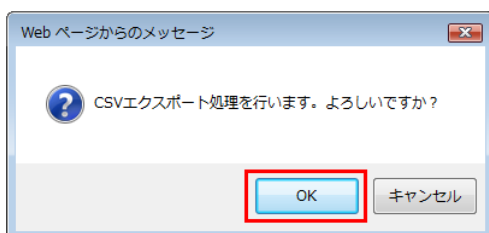
3. リストビューを表示し、リボンメニューの[リスト]タブをクリックします。



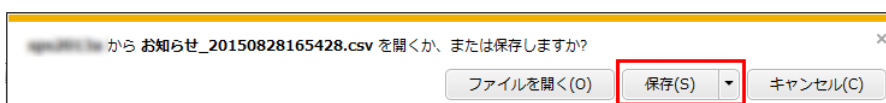
4. リボンメニューの [接続とエクスポート] セクションに [CSV エクスポート] ボタンが表示されるので、ボタンをクリックし、表示されたエクスポート形式のメニューから出力したいメニューをクリックします。



5. メニューを選択すると、確認ダイアログが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



6. ブラウザの下部に、CSV ファイルの保存確認メッセージが表示されるので、ファイルを任意の場所に保存します。

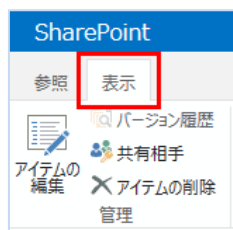


※保存確認メッセージは、使用するブラウザによって挙動が異なります。

フォームから実行する場合

※ フォームから実行する場合は、アイテムは 1 件のみの出力になります。

7. アイテムの表示フォームを表示し、リボンメニューの[表示]タブをクリックします。



- リボンメニューの「[エクスポート]」セクションに「[CSV エクスポート]」ボタンが表示されるので、ボタンをクリックし、表示されたエクスポート形式のメニューから出力したいメニューをクリックします。



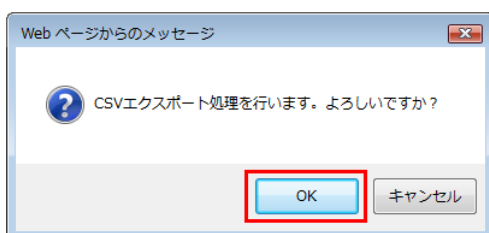
- 上記、5 ～ 6 の手順を行い、ファイルを任意の場所に保存します。

- 設定画面から行う場合

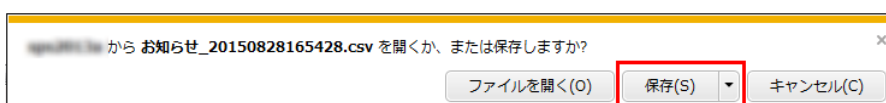
- CSV エクスポート設定画面を表示し、エクスポート形式の一覧から「[即時実行]」ボタンをクリックします。



- 確認ダイアログが表示されるので、「[OK]」ボタンをクリックします。



- 画面下部に、CSV ファイルの保存確認メッセージが表示されるので、ファイルを任意の場所に保存します。



※保存確認メッセージは、使用するブラウザによって挙動が異なります。

設定をエクスポート

設定内容をエクスポートする手順は以下の通りです。

1. CSV エクスポート設定画面を表示し、[設定をエクスポート]ボタンをクリックします。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし
出力形式②	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし
出力形式③	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

保存

初期化

設定をエクスポート

設定をインポート

キャンセル

※ 設定が保存されていない場合、[設定をエクスポート]ボタンは非活性になり、エクスポートすることはできません。

出力形式③

☒ リストビュー ☒ フォーム

未保存

未設定

なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存

初期化

設定をエクスポート

設定をインポート

キャンセル

2. 画面下部に、保存確認メッセージが表示されるので、ファイルを任意の場所に保存します。

エクスポートしたファイル名は「SPXCSVExportSetting.1.0.0.0.xml」です。

※ 任意の名前で保存したい場合は、下向き三角の部分をクリックし[名前をつけて保存]を選択し、表示されたダイアログボックスから保存してください。

SPXCSVExportSetting.1.0.0.0.xml から SPXCSVExportSetting.1.0.0.0.xml を開くか、または保存しますか?

ファイルを開く(O)

保存(S)

キャンセル(C)

※保存確認メッセージは、使用するブラウザによって挙動が異なります。

設定をインポート

設定内容をインポートする手順は以下の通りです。

1. CSV エクスポート設定画面を表示し、[設定をインポート]ボタンをクリックします。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
データがありません				

保存 初期化 設定をエクスポート **設定をインポート** キャンセル

2. [設定をインポート]ダイアログが表示されます。

設定をインポート ×

インポートファイル * 参照...

※[保存]ボタンをクリックするまで、インポートしたデータは保存されません。

インポート キャンセル

➤ インポートファイル

インポートする CSV エクスポートの XML ファイルを指定します。

XML ファイルの指定は、[参照...]ボタンをクリックし、[アップロードするファイルの選択]ダイアログから指定して下さい。

3. [インポート]ボタンをクリックすると、指定した XML ファイルを読み込み、CSV エクスポートの設定が反映されます。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	未保存	未設定	なし
出力形式②	☒ リストビュー ☒ フォーム	未保存	未設定	なし
出力形式③	☒ リストビュー ☒ フォーム	未保存	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存 初期化 設定をエクスポート 設定をインポート キャンセル

4. [保存]ボタンをクリックします。

※インポート後、必ず各設定情報が反映されているか確認し、[保存]ボタンをクリックして下さい。

インポート時の制限事項

インポートする際、内部名が同じ列の設定情報のみ継承されます。そのため、表示名が同じでも内部名が異なる列の設定情報は継承されません。

インポート先となるリストに列が存在しない場合、エクスポート形式の列一覧に表示されません。

※並び替えやフィルターで、存在しない列を使用している場合は、CSV ファイル出力時にエラーになる可能性がありますので、設定を変更して下さい。

異なる Web アプリケーションまたはサイトコレクションにインポートした場合

異なるサイトコレクションにインポートした場合、以下の設定情報は継承されません。

インポート後、設定内容を変更して下さい。

- スケジュール設定
 - ✓ サイト選択
 - ✓ ライブラリ選択

スケジュール設定

スケジュール機能を設定すると、指定した日時にエクスポート形式で設定した CSV ファイルを生成し、対象ライブラリにファイルをアップロードします。

実行結果は、スケジュール履歴画面で確認することができます。

スケジュール実行はシステムアカウント権限で行われるため、出力対象のアイテムは、システムアカウントの閲覧権限があるアイテムとなります。

スケジュール機能を設定する手順は以下の通りです。

1. CSV エクスポート設定画面を表示し、エクスポート形式の一覧からスケジュール設定のリンクをクリックします。

CSVエクスポート形式の作成				
エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

2. スケジュール設定画面が表示されます。

[スケジュール機能の有効化]

[スケジュール機能を有効にする] チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

[SP改]CSVエクスポート：スケジュール設定

☒ スケジュール機能を有効にする

実行スケジュール

☒ 時間単位 毎時実行: 00 分 詳細設定欄
☐ 日単位
☐ 週単位
☐ 月単位

格納先ライブラリ

サイト ANKポータルサイト
ライブラリ なし

エクスポート処理は、システムアカウント権限で実行されます。

保存 キャンセル

[実行スケジュール]

処理を実行するスケジュールを設定します。

◇ 時間単位

毎時実行の「分」を設定します。

- ✓ 00 分
- ✓ 15 分
- ✓ 30 分
- ✓ 45 分

The screenshot shows the '実行スケジュール' (Execution Schedule) dialog box. The '時間単位' (Hourly) radio button is selected and highlighted with a red box. To its right, the '毎時実行:' (Execute every hour) section is also highlighted with a red box, showing a dropdown menu set to '00' and the unit '分' (minutes).

◇ 日単位

日次実行の「時、分」を設定します。

- ✓ 時間 (00 ~ 23)
- ✓ 分 (00、15、30、45)

The screenshot shows the '実行スケジュール' (Execution Schedule) dialog box. The '日単位' (Daily) radio button is selected and highlighted with a red box. To its right, the '毎日実行:' (Execute daily) section is highlighted with a red box, showing two dropdown menus for time and minutes, both set to '00'.

◇ 週単位

週次実行の「曜日、時、分」を設定します。

- ✓ 曜日 (日曜日 ~ 土曜日)
- ✓ 時間 (00 ~ 23)
- ✓ 分 (00、15、30、45)

The screenshot shows the '実行スケジュール' (Execution Schedule) dialog box. The '週単位' (Weekly) radio button is selected and highlighted with a red box. To its right, the '毎週実行:' (Execute weekly) section is highlighted with a red box, showing a dropdown menu for the day of the week set to '日曜日' (Sunday), and two dropdown menus for time and minutes, both set to '00'.

◇ 月単位

月次実行の「日、時、分」を設定します。

✓ 日 (1日 ~ 31日)

✓ 時間 (00 ~ 23)

✓ 分 (00、15、30、45)

実行スケジュール

☐ 時間単位

☐ 日単位

☐ 週単位

☒ 月単位

毎月実行:

1日 00: 00

[格納先ライブラリ]

CSV ファイルのアップロード先を設定します。

◇ サイト

ドロップダウンからサイトを選択すると、下部にある[ライブラリ]のドロップダウンに、選択されたサイトに存在するライブラリの一覧が選択肢として表示されます。

格納先ライブラリ

サイト ANKポータルサイト

ライブラリ ドキュメント

◇ ライブラリ

アップロード先のライブラリを選択します。

格納先ライブラリ

サイト ANKポータルサイト

ライブラリ ドキュメント

3. [保存]ボタンをクリックします。

※この状態では、設定の保存は完了していません。

4. CSV エクスポート設定画面が表示されるので、[保存]ボタンをクリックすると設定が完了します。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	時間単位	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存

初期化

設定をエクスポート

設定をインポート

キャンセル

スケジュール機能を無効にする場合

1. [スケジュール機能を有効にする] チェックボックスをオフにします。

※下部の詳細設定欄が非表示になります。

[SP改]CSVエクスポート：スケジュール設定

☐ スケジュール機能を有効にする

保存

キャンセル

2. [保存]ボタンをクリックします。

※この状態では、設定の保存は完了していません。

3. CSV エクスポート設定画面が表示されるので、[保存]ボタンをクリックすると設定が完了します。

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存

初期化

設定をエクスポート

設定をインポート

キャンセル

リストテンプレート

CSV エクスポートで設定した情報は、リストのテンプレートの作成、および、リストテンプレートからのリスト作成の際、継承されます。

しかし、リストを作成した状態ではまだ CSV エクスポート機能は有効になっていません。

そのため、CSV エクスポート設定画面を表示し、設定情報を保存する必要があります。

リストテンプレートから作成した CSV エクスポートの設定情報を反映する手順は以下の通りです。

1. リストテンプレートを作成します。
リストテンプレートは、設定画面で[権限と管理]の[リストをテンプレートとして保存]をクリックし、表示された、[テンプレートとして保存]画面で行います。
2. 保存したリストテンプレートを使用して新たにリストを作成します。
3. 2 で作成したリストの設定で、CSV エクスポート設定画面を表示します。
4. 設定画面を表示すると、[このリストで CSV エクスポート機能を有効にする]のチェックボックスがオフになっているので、チェックをオンにします。
5. 詳細設定欄が表示され、一覧にリストテンプレート作成時に継承された設定内容が表示されます。
6. [保存]ボタンをクリックします。
これにより継承された設定内容が反映されます。

機能の無効化

CSV エクスポート機能を無効化する手順は、次の通りです。

1. CSV エクスポートの設定画面を表示します。
2. [このリストで CSV エクスポート機能を有効にする]のチェックボックスをオフにします。
※下部の詳細設定欄が非表示になります。

CSVエクスポート機能の有効化

CSVエクスポート機能を有効化すると、リストデータをCSVファイルで出力することができます。

☐ このリストでCSVエクスポート機能を有効にする

保存 初期化 設定をエクスポート 設定をインポート キャンセル

3. [保存]ボタンをクリックします。

※上記設定により、機能は無効になりますが、設定内容はクリアされず残っているため、再度機能を有効にした場合、設定内容が再表示されます。

CSVエクスポート機能の有効化

CSVエクスポート機能を有効化すると、リストデータをCSVファイルで出力することができます。

☒ このリストでCSVエクスポート機能を有効にする

CSVエクスポート形式の作成

エクスポート形式	リボン設定	実行	スケジュール設定	スケジュール履歴
出力形式①	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし
出力形式②	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし
出力形式③	☒ リストビュー ☒ フォーム	即時実行	未設定	なし

保存ボタンをクリックするまで設定は適用されません。

保存 初期化 設定をエクスポート 設定をインポート キャンセル

制限事項

CSV エクスポート機能は、以下に対応しています。

- 日本語のみ

以下のリスト(ライブラリ)は、CSV エクスポート機能サポート対象外です。

- データ接続ライブラリ
- 外部リスト

試用版について

試用版の場合、CSV エクスポート機能が有効になっているリストのビューと、アイテムの表示フォームに、弊社 株式会社アंकのロゴが表示されます。

また、出力ファイルには、末尾に、弊社 株式会社アंकの紹介文が出力されます。

以上